

ミリカ2024年8月8日(木) 掲載

子育ての悩みに寄り添う絵本

## 子育てと絵本 vol.34

先日お会いした2歳児のお父さん。「息子には日本の伝統を大事にしてほしい。祭りやおどりを一緒に楽しみたい」とおっしゃっていました。素敵ですね。子どもに楽しませたいではなく、一緒に楽しみたいと。

夏の伝統行事でまず思い浮かべるのが「夏祭り」。花火におどり、おばけ屋敷に屋台。ワードを聞くだけでワクワクドキドキ。

絵本「おまつりおばけ」。きょうは おまつりよ。みんなで行きましょう。さあ したくしたく あっ あやしい ひとが いる—大丈夫。何かの時にはやっぱりお父さんお母さんが助けてくれる。最後は安心感に浸ることができます。話の展開が早く、面白いストーリーに引き込まれます。子どもたちはちょっと怖くてかわいいおばけが大好き。信頼できる大人がそばにいる中で、ちょっぴりなドキドキ感が心地いいようです。

## こんな時こんな絵本 その6 「日本の伝統をつなげてほしい」

「おどります」。かばとぞうが おどります メケメケ フラフラ メケメケ フラフラ、、、みんなが おどります メケメケ、、、一。メケメケフラフラの響きがいいですね。動物たちがおどる単調なくり返しですが、子どもは単調なくり返しやオノマトペの語調が好きです。「ただおどりが好き、おどりたい!」が、動物たちの笑みを含んだすました表情から伝わってきます。最後は「さあ、きみも!」。子どもたちは絵本に集中しながらも、体がリズムカルに楽しく動いています。子どもたちの「いい表情」「楽しい」「好き」を伸ばしてあげたいですね。

オノマトペには擬声語、擬音語、擬態語があり、具体的なイメージや感覚、心情、動作などを伝えることができます。オノマトペを使って日本語を豊かに表現していきたいものです。

よさこい祭りで町中から鳴子の音が響きわたる

と胸が躍ります。日本ならではの夏、高知の夏を子どもと一緒に楽しみましょう。

連日厳しい暑さが続いています。体調には十分に気をつけて、健やかな日々をお過ごしください。

### 今回ご紹介する絵本



おまつりおばけ  
作 くらだ かおる  
絵 せな けいこ  
フレーベル館



おどります  
作 高畠 純  
絵本館

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。絵本講師(NPO法人「絵本で子育て」センター認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター